

スタートライン ~First Great~



2月1日から始まる「職場体験学習」を成功させよう！

今日、日本社会の様々な領域において、構造的な変化が進行しています。特に産業や経済の分野においてはその変容の度合いが著しく大きく、雇用形態の多様化、流動化にも直結しています。また、学校から職業への移行プロセスに問題を抱える若者が増え、社会問題にもなっている状況です。

このような中、1人1人の生徒が「生きる力」を身に付け、明確な目的意識をもって日々の学校生活に取り組みながら、主体的に自己の進路を選択し、決定できる能力を高め、しっかりとした勤労観や職業観を形成し、激しい社会変化の中で将来直面するであろう様々な課題に対応しつつ、1人の社会人・職業人として自立していくことが出来るようにする「キャリア教育」の推進が強く求められています。中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育の在り方について(答申)」では「キャリア」について次のように示されています。



職場体験

人は、他者や社会とのかかわりの中で、職業人、家庭人、地域社会の一員など、様々な役割を担いながら生きている。このような役割の中には、所属する集団や組織から与えられたものや、日常生活の中で特に意識せず習慣的に行っているものもあるが、人はこれらを含めた様々な役割の関係や価値を自ら判断し、取捨選択しながら取り組んでいる。

人はこのような自分の役割を果たして活動すること、つまり「働くこと」を通して、人や社会とのかかわることになり、そのかかわり方の違いが「自分らしい生き方」となっていく。人が生涯の中で様々な役割を果たす中で自らの役割の価値や自分の役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが「キャリア」である。

学校は単に「勉強する所」だけではありません。学力を高め、希望の高校に進学することだけが目的ではありません。自分は何ぞ学ぶのか、将来どうなりたいのか、先行きの見通しをもって計画的に考え、様々な人とのかかわり合いながら「キャリア発達」を促していく場所です。自分らしい生き方を体験的に模索していくために、体験を重視した教育の改善・充実を図る取組を展開していく必要があります。試行錯誤を繰り返しながら、成功した喜びを味わい、時には失敗を重ねることを通して、自分なりの職業観や勤労観を見いだすことができます。「職場体験学習」を実施するのはそのためです。現在、総合的な学習の時間では、2月1日から始まる職場体験学習に向けて、受け入れていただく事業所に事前訪問のための電話連絡をしたり、自己紹介カードを作成したりするなど、様々な取組を実施しています。職場体験は3日間だけで終わりではなく、その先の未来における「自分らしい生き方」探しの第1歩となります。充実した職場体験にしていきましょう。

☆**職場体験**に向けて必要な準備を進めていこう。2月1日～3日は「お弁当持参」です！



月日	曜	学校行事等	時程	給食	1	2	3	4	5	6
1月23日	月	生徒朝礼 ⑥総:グループごとに職場体験準備	A	○	学	○	○	○	○	総
24日	火		A	○	○	○	○	○	○	○
25日	水	放課後:学習発表会【展示】準備	A	○	○	○	○	○	○	
26日	木		A	○	○	○	○	○	○	道
27日	金	③④ 展示作品鑑賞	A	○	○	○	鑑	賞	○	総
28日	土	土曜授業 ①②総:グループごと職場体験準備	A	×	総	総				
29日	日									
30日	月	①学:展示作品片付け ⑥総:事前指導	A	○	学	○	○	○	○	総
31日	火	前日指導	A	○	○	○	○	○	○	○
2月 1日	水	職場体験学習 ~第1日目~		×						
2日	木	職場体験学習 ~第2日目~		×						
3日	金	職場体験学習 ~第3日目~		×						

キリトリ

《ひとこと No.28》1年()組 氏名() ※掲載可否() 希望されない場合は ✕ を記入してください